

第3回 富士川町民体育館建設検討委員会 会議録

- 1 日時 平成28年11月15日(火) 19:30~21:15
- 2 場所 富士川町役場本庁舎 第1会議室
- 3 出席者 ①委員:12名出席
※欠席者:3名
②役場関係者:4名

4 議事

- (1) 新町民体育館の目標像について
- (2) アリーナ及び諸室等の機能と規模について
- ※事務局から検討資料を用いて一括で説明

議事要旨

○委員:アリーナについてですが、資料3の案2では、メインアリーナとサブアリーナの合計でバレーボール・バスケットボールが3面とありますが、メインアリーナで2面、サブアリーナで1面ということでしょうか。

事務局:アリーナは、委員の皆様の意見から、いずれの案も、バレーボールが合計で3面とれる案です。案1は、必要時に、同一スペースに3面のコートを確認することを考慮するなか、そのうち1面は目隠しの可動ネットを付けてサブアリーナの機能も持たすとともに、スポーツ以外のイベントにも、この広いスペースが対応する案です。案2は、メインアリーナに2面、別スペースのサブアリーナに1面で合計3面という案です。

○委員:サブアリーナはメインアリーナと分けてウォーミングアップに使用できますのでなかなか捨てがたいと思います。案2を採用してサブアリーナをつくれば、メインアリーナが2面になってしまうので、ちょっと寂しい気がします。

○委員:検討資料にはありませんが、メインアリーナでバレーボールを3面、さらに別でサブアリーナをつくる案はいかがですか。

事務局:合計で4面という事だと思いますが、広い面積が必要になるとともに、試合時には機能するとしても、平日の日中等、稼働率が低い部屋となる可能性があることから、案としませませんでした。これに代わるのが案1であり、トレーニング室に、試合時のウォーミングアップ室の機能を持たせる案です。これには、あ

る程度の天井の高さも考慮しなければなりません。

○委員：バドミントンをするのに、練習であれば案2でも良いですが、大きい大会をする際は、1つのフロアで多く面数を取れたほうが良いので案1が望ましいと思います。

○委員：案1は、公式のフットサルコートが取れるように考えていただいているので、フットサルをする人は喜ぶと思います。

○委員：県内体育館を視察した時に、バレーボールのサービスゾーンは6～7mあれば十分できると聞いたところですが、今回の案では、男子9人制が8m、ママさんが11m取れるようになっていきます。バスケットボールにおいては、壁との間が5mとありますが、4m以内でないと壁面折り畳み式のゴールが設置できないということです。男子バレーボールで6、7mにすることでできれば、壁面折り畳み式のゴールが設置できると思いますがいかがでしょうか。

事務局：この5mは、バスケットボールの大きい大会では望ましいとされるとともに、そのような大会では移動式ゴールを設置するため、5mのうち4m程度はゴールのスペースとなるようです。練習に主眼を置いた壁面折り畳み式ゴールとすると、男子バレーボールで、9人制のサービスゾーンを狭めることが可能であれば、取り付けが可能と思われれます。

○委員：男子9人制バレーボールは、国体でも無くなっています。しかし、9人制の全国大会がいくつかあるし、県内の大会もあるので、それを開催する場合は、規定通りサービスゾーンを取らなければならないと思います。そうでなければ、狭めることもできると思いますが、即答はできません。

事務局：本件につきまして、確認をしていただくことができますか。

○委員：承知しました。

○委員長：案1のほうが良いということで次に進みます。次に、ステージを設置しない案ですが、いかがでしょうか。

○委員：無いほうがアリーナを広く使えるので、ステージは無くてもいいと思います。

○委員長：床材については、どうでしょうか。

事務局：視察先の施設で聞いたのですが、汗が落ちた時等に乾きやすいとのことでした。

○委員：県内の他施設は、観覧席に入るのに上下履きの区別をしていますが、観覧席はお客さんだけが入ることを考えると、下足でそのまま行き来できるようにしたほうが良いと思います。

事務局：利便性が高まるものと思います。通常時は、観覧席の周りがランニングコースになることや、大会時に観覧席は、選手席にもなり得ることも考慮しながら検討したいと考えます。

○委員長：観覧席について、移動式を設置して併せて使うとか、色々と方法があると思いますが、固定席の席数を踏まえて、いかがでしょうか。

事務局：案1ですが、トップレベル選手が試合に来たときは、最低2,000席程度欲しいということです。固定席を1,000席。これにより、固定席の階下スペースを活用して器具庫や諸室の一部を配置し、あとの1,000席は、必要時にアリーナ面に移動式の席をレンタルで、という案です。また、案2は、元オリンピック選手を呼んで地域とふれあう事業があり、これには観覧席が600席以上なければならないという条件を考慮した案です。

○委員：移動式の席を1,000席設置した時にどのくらいのスペースを使いますか。

事務局：他施設を調べると、ブリーチャーの場合、段数にもよりますが、せり出し幅は概ね片面で7m程になるようで、スポーツ以外のイベントの開催を考慮すると、自由な配置ができません。また、先ほどの壁面折り畳み式バスケットゴールが設置できない箇所も出てくると思います。移動できる仮設席の場合は、ステージを囲むように席をつくりたい時等、柔軟なレイアウトが可能です。

○委員：ステージをつくらないのに、観覧席を四方に囲まないで三方向というのはどういった理由でしょうか。

事務局：この案は、電動式で壁が倒れてステージになるといったものを想定し、吊りボタンでイベント看板の掲示等を行うというものです。ステージ側の上部はランニングコース兼管理用通路のみとなりますが、立見席としても利用でき

ると考えます。

○委員長：固定観覧席の席数は、様々なアリーナの利用方法が考えられるとともに、階下を利用して部屋をつくることで建築面積を少なくすることができることから、1,000席程度必要といたします。次に、器具庫について、アリーナ面積の15%前後程度必要とされているとのことですが、いかがでしょう。

事務局：検討の目安としてアリーナ面積に対して15%前後程度という一般値ですが、例えば、大きな移動式のバスケットゴールを収納しない等であれば、必要面積は少なくなると思います。

○委員長：次に、補助金の場合、必須整備事項として項目立てがある、トレーニング室・体力測定室・健康体力相談室、会議室・研修室についてはいかがでしょうか。

○委員：防音設備や仕切りについてはどのように考えますか。

事務局：案1では、トレーニング室、研修室、会議室の間をそれぞれ可動間仕切りにして、これら全体の一室として、壁を防音にする案です。案1案2は、あくまで検討しやすいよう、ある程度の現実性を持たせるなかでの両極端なたたき台ということをお願いします。

○委員：アリーナは、球技の用途でほとんど使うので、なかなか音楽をかけて利用する団体が使えないのではと思います。そうすると、このようなトレーニング室を使うことになると思いますが、研修室・会議室が隣なので、音楽をかけて利用できないと思います。

事務局：案1では、委員がおっしゃるような団体が利用する場合、可動間仕切りを取り除いた大きな一室を、多目的室として利用いただく案です。また、このような柔軟性で、イベント実行委員会等の大人数の会議にも対応します。

○委員：大きな部屋で使いたい場合、会議室・研修室があるので、他の団体と重なってしまうことが想定されます。学校開放施設を利用する際に、PTAの会合などが入っていると駐車場があまり使えなかつたりするので、会議室とは切り離れた、多目的に利用できるトレーニング室があれば良いと思います。案1では、既存の学校開放施設等を使わなければならないです。

事務局：利用申請が重ならないようにとなると、かなり大きな規模になりますし、平日の日中等、時間帯によっては、もったいない部屋となる可能性があります。このようなことを考慮した案で、他施設の利活用も想定したものです。

○委員：多目的に使えるサブアリーナがあれば良いなと思います。例えば案1のように多目的に使えるトレーニング室をつくるのであれば、会議室・研修室とは別にすることが望ましいと思います。

○委員：他施設は会議室が3つくらいあるところがあります。3つあれば、選手の控室にも使えるし、役員の会議室としても使えます。1つだと、大会を運営するのに不便ではないかと思います。なお、会議室は続き部屋ではなく、離れて3つが良いと思います。

○委員：案2でウェイトトレーニング室とありますが、合宿等の時期も通年とは想定しにくいですし、ほとんど利用しないのではないかと思います。誰か指導者が付かないと危険でもあります。

○委員：トレーニング室については、フォレストモールに移設してオープンした経緯がありますので、器具をどうするといったことは切り離して考えたほうが良いのではないかと思います。

事務局：委員の皆様から、トレーニング室は、多目的に利用できる意味合いを優先するとともに、会議室とは切り離すことが望ましいという意見をいただきました。次回の資料に反映させたいと思います。

○委員：ロビーの使い方についてですが、大会時等に総勢約150人の人数でチームごとにロビーで食事や休憩をしたりしています。資料2の補助金を有効に活用する場合は、アリーナの面積が大きいと、ロビーの面積は小さくしなければなりませんか。

事務局：先ほどの、観覧席の活用（選手席としての機能）も考えているところです。

○委員長：更衣室・シャワー室、トイレについていかがでしょうか。

○委員：（選手用の更衣・シャワー室に付属するトイレの）男性用の小便器は置かない

のですか。

事務局：女性チームの試合の際、男性更衣室も、女性更衣室とすることで柔軟に利用できる案です。男性チームの試合の場合は面倒かもしれませんがトイレが無くなるわけではなく、また清掃等その後の管理もしやすくなります。

○委員：案1の場合、最大で移動式の観覧席を含め、2,000席の想定をしているのでその分のトイレの数を想定したほうが良いと思います。

事務局：想定利用人数による設置数の目安となる基準がありますが、場合によっては、常設のトイレだけでなく仮設のトイレを設置する等の対応も考慮します。

○委員：トイレの配置はどのように考えますか。観客席からいちいち1階に降りなければならぬとなると不便だと思いますが。

事務局：考えは様々あるかと思いますが、この検討委員会では、詳細な施設配置までは検討しない予定です。

○委員長：空調・冷暖房については、事務局の提案どおり必要であるという事でもよろしいでしょうか。

○一同：はい。

○委員長：その他ありますか。

○委員：災害時に避難所になった場合、障がい者の方は、一般の方と同じ空間だと大変だと思いますので考慮していただきたいです。

事務局：資料3で、一般の避難スペースとは別に、要援護者の避難スペースを確保する案です。

○委員長：駐車場等の屋外付帯施設についてですが、体育館を建設する場所が決まらなとなかなか具体的な案が出しにくいと思いますが、基本的な考え方として、資料3のとおりでよろしいでしょうか。

○一同：はい。

○委員長：今回で形になってきましたけど、次回は、今回の意見をまとめていただいた資料を提示していただければと思います。

事務局：専門家ではないため図面を書くことはできませんが、必要な部屋の数や、機能等を取りまとめ、検討資料とさせていただきたいと思います。今回が3回目ですが、あと2回行い、2月頃には、最終の会議を行い、年度内に町長に報告をしたいと考えております。

○委員長：建設検討委員会ということで必要な機能等を提案していますが、その後、着工に当たって建設委員会というようなものが発足されるのですか。そうであれば、今回携わった方を入れていただければより良いと思います。

教育長：今後、町で決めていくか、皆さんにも入っていただいて決めていくかまだ分かりませんが、今回、いただいた意見をもとに進めてまいりますのでご理解いただきたいと思います。

○委員長：その他、何かありますか。無ければ議事を閉じさせていただきます。皆さん、ご意見をありがとうございました。

5 閉 会

○副委員長：お疲れ様でした。皆様が考えていることを気兼ねなく出して検討いただき、より良いものをつくっていただければと思います。以上で第3回富士川町民体育館建設検討委員会を閉会いたします。

～委員会終了～ 【以上】